

企業紹介

地球にやさしく 人にやさしく 次世代の架け橋へ



本社〒950-0914 新潟市中央区紫竹山7-13-16
TEL 025-245-7131 FAX 025-245-7132
<http://www.khggk.co.jp>

業 種：サービス
資 本 金：4,000万円
事業内容：建設コンサルタント、測量業、一級建築士事務所、地質調査業

新潟県を中心とした北陸地域で、道路や橋梁等の計画・設計、都市計画の策定等、私たちの暮らしに欠かせない社会基盤の整備に深く携わってきた開発技建(株)。公共工事が減少し、新たな道路や橋梁の建設が減少しているなか、同社では、これまで培った技術力をもとに、既存の構造物の点検や維持、有効活用を目指した設計にウェイトをおいている。

専門知識および技術力を駆使し社会基盤を整備

開発技建(株)の創業は昭和41年。建設コンサルタントとして、新潟県を中心とした北陸地域の社会基盤の整備に深く関わってきた。建設コンサルタントの業務は多岐にわたり、道路や橋梁など構造物等を設計するだけでなく、交通解析にもとづく道路計画、地域社会の活性化を目指した街づくり、社会実験による効果検証、地域を守り・育てる自然豊かな川づくり、安心安全の視点からの災害対策など、幅広い専門知識を要する。その専門知識と技術力をもとに、同社がこれまでに携わってきた事業には、日本海沿岸東北自動車道、新潟バイパス・亀田バイパス、千歳大橋、ござれや阿賀橋等、県内の主要な社会基盤が多数存在する。



▲平成21年に開設した新潟市中央区の本社社屋

新たな社会基盤の整備から既存の構造物の維持、有効活用

しかし、近年では公共工事を取り巻く環境が大きく変化し、新たな社会基盤の整備は減少傾向にある。そうしたなか、同社も従来の構造物設計中心から既存の構造物維持や有効活用を目的とした事業へとウェイトが移りつつある。

特に、建設後数十年経ち、老朽化による損傷が生じている橋梁やトンネル等もあり、同社の技術力を活かした点検、補修・補強のための調査や設計等のニーズは年々増加傾向にある。

一方、高速道路においても、同社は高速道路のスマートIC（ETC車両のみを対象としたインターチェンジ）導入時より、適地選定や費用対効果の分析、地域状況に応じたICの計画・設計などの業務実績を数多く保有。今日では、その経験を活かして、低コストで導入できるスマートICの構想段階から供用まで一連の取り組みをフルサポートできる体制を整えている。

社内の教育体制を確立して資格取得者を増やす

現在、同社の社員は約110名。このうち技術系社員が約8割を占めるが、その多くが国家資格である技術士やRCCM（土木に関わる調査・計画・設計業務の管理・照査技術者の資格）などの資格を有している。高い専門知識が求められ、一人前になるのは早くて7~10年程度はかかると言われる業界なだけに、同社では自己啓発や資格取得に力を入れている。そうしたなか、熟練の技術者が若手を指導する教育体制を確立させたことで、資格取得者も増え、技術の伝承、人材の育成に役立っている。



▲社内では、熟練の技術者が若手を指導する教育体制を確立